

# みんなで乗って守ろう! 地域を支える公共交通

## 公共交通の必要性や現状

市内には、鉄道、路線バス、タクシーなどの公共交通があり、私たちの日常生活に必要な不可欠なものです。しかし、人口減少や少子高齢化などの影響により、公共交通の利用者は減少しています。利用者が減少すると、路線の縮小や運行本数の減少につながります。そして、利便性が悪くなり、さらなる利用者の減少を招く悪循環に陥る恐れがあります。



▲詳細はこちら

## 公共交通を利用するメリット

### 車とくらべて…

#### ●環境に優しい

公共交通は、一人当たりの二酸化炭素の排出量が少なく、地球に優しい乗り物です。

#### ●健康の維持

駅やバス停からの移動で歩く機会や距離が増えて、日常的に運動量が多くなることで、健康増進につながります。

#### ●事故リスクの回避

公共交通を利用することで、交通事故に遭うリスクが低くなります。

#### ●移動時間の有効活用

通勤・通学時間中でも勉強や読書などができ、時間を有効活用することができます。

## 公共交通を使いましょう

公共交通を将来にわたり守っていくためには、私たちが公共交通を利用することが大きな支えとなります。普段、電車やバス、タクシーなどを使わないというかたも、目的地によって移動手段を使い分けてみませんか。公共交通を積極的に利用することで、地域の生活を支える公共交通をみんなで守り、未来につなげていきましょう。

問合せ 地域振興課交通政策室



## 7月28日は世界肝炎デー

### 受けていますか？ 肝炎ウイルス検診



#### ◆肝臓のはたらき

肝臓は、人間の体内で最も大きい臓器であり、右の肋骨の下に位置しています。その役割は、消化管から取り込んだ栄養を利用しやすい形に変えたり、アルコールなどの毒物を分解したり、体内の物質のバランスを維持したりするなど、生命を支えるうえで重要な働きを担っています。

#### ◆知らぬ間に悪化・ウイルス性肝炎

肝炎ウイルスに感染することによって起こる肝臓の病気です。国内で特に多いのはB型・C型肝炎で、主に血液や体液を介して感染します。この病気になると、徐々に肝臓の機能が失われていき、病状が進行すると肝硬変や肝がんに至ることもあります。しかし、肝臓は『沈黙の臓器』とも呼ばれており、無症状のまま経過し、自覚症状が出たころには重症になっている場合もあります。

#### ◆一生に一度は、肝炎ウイルス検診を受けましょう

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、血液検査で分かります。40歳以上で、過去に一度も肝炎ウイルス検査を受けたことがないかたは、500円で市の検診が受けられます。この機会に、ぜひ検診を受けましょう。市の検診実施期間は、6月から令和9年1月まで、「検診受診券」が必要です。



◀詳細はこちら

問合せ 健康増進課成人保健担当